

戦気 NO-30

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 こんごちゃんです!



第67回 東日本新人王トーナメント戦 小椿康晃 4R 判定負け!

5月15日、東日本新人王トーナメント戦のスーパーフライ級1回戦に小椿康晃が登場した。対戦相手は清水大樹選手(横浜光ボクシングジム、3戦3勝1KO)

1ラウンド開始から小椿は果敢に攻めた。左右のフック、ボディブローがヒットするが、清水選手のジャブからワンツー、ストレートが小椿の顔面に決まり、1ラウンド終了時に鼻血を出し苦しい戦いとなる。

2ラウンド、小椿は飛び込みざまのフックを出す。清水選手のジャブが的確だ。小椿のダブルガードを割って顔面にストレートを打ち込む。

3ラウンドには清水選手のパンチにより小椿は左臉を切る。小椿のパンチは大振りになり空を切ることが多くなる。清水選手のワンツー、アッパーに小椿の顎が撥ねられる。

4ラウンドには清水選手は足を使い距離を制御。ジャブからワンツー、トリプルをヒットさせ終了のゴング。判定結果は3:0(40:36.40:36.40:37)の判定負けとなった。

私の採点でも40:36だった。小椿は果敢に戦ったが力の差は歴然だった。この敗戦を肥やしに練習を積んで行こう。

小椿の言葉

応援ありがとうございました。今回は負けてしまいましたが、次戦は頑張りますので応援よろしくをお願いします。

第67回 東日本新人王トーナメント戦 林 涼樹 1R TKO勝ち(6/4)



フライ級1回戦に林(おにぎり)が登場した。対戦相手は深澤巧選手(ヨネクラジム、2戦1勝1KO1敗)。

1ラウンド開始25秒だった。おにぎりの電光石火の右ストレートが深澤選手の顔面に突き刺さった。深澤選手はたまらずダウン。カウント[8]で立ち上がったが、おにぎりは

勝機を逃がさずラッシュをかけた。連続パンチの嵐にさらされる深澤選手をスタンディングダウンと判断した阿部レフリーが両選手の間に割り込み41秒でTKO宣言をした。

なお、新人王戦の場合は1ラウンド中に2回ダウンするとツーノックダウン制という安全性を考慮した特別ルールによってTKO宣言される。このまま新人王へ突き進もう。



こんごちゃんは見た!!

ボクシングはハングリースポーツだと言われる。ハングリーという言葉から貧困生活から抜け出すために腕一本で大金を稼ぐサクセスストーリーに結び付けようとするが、今どきのボクサーの大半は貧困生活からの脱却を求めてボクシングをしているわけではない。ハングリーという意味は世界に唯一人というチャンピオンになるために日々の厳しい練習に取り組み、食欲に技術を向上させようとする向上心に対して「飢え(ハングリー)」という言葉が当てているのだ。日本チャンピオン、東洋太平洋チャンピオン、世界チャンピオンというチャンピオンロードに真っ直ぐに唯ひたむきに自分の全存在をかけて突き進むところにハングリースポーツとしてのボクシングの所以があるのだ。ジム生諸君! よりハングリーに突き進もう!



5月15日、後樂園ホール

3ラウンド、果敢に打ち合う小椿(左)

第67回 東日本新人王トーナメント戦 佐藤ヒロト 判定負け(6/4)



スーパーライト級2回戦にヒロトが登場した。対戦相手は鈴木宏隆選手(ワタナベジム、6戦3勝2KO3敗)。

1ラウンドから4ラウンドまでクリンチ、ホールドの目立つ試合展開だった。距離をとって戦いたい鈴木選手に対して、ヒロトは距離を詰めて戦うため前進する。その結果、終始、団子状態が展開する試合内容となった。結果は3:0(40:37.40:37.39:37)の判定負けだった。

ヒロトは不器用な選手だが、今年の新人王戦に自分の全てをかけた練習を積み戦ってきた。トーナメント結果は1勝1敗で終えたが、その体験は今後先生になった時に必ず生きてくるだろう。子どもたちに慕われ人気者の先生になるだろう。先生という次のリング上でも元気いっぱいに進んで行こう。

三谷会長のコメント

小椿は、対戦相手が教科書通りの綺麗なワンツーを打った。3ラウンドから流れを変えられなかった。小椿は中途半端な戦い方だったが、最後まで諦めないで戦う姿勢は良かった。勉強になったと思う。

オニギリは、パンチが切れていた。対戦相手はフックしか打たないだろうと読んで、正面からストレートを打ち込むように指示したとおりに決めてくれた。新人王をねらっているのだから次戦も勝ち、決勝まで進むと思う。

ヒロトは、自分のもてる力を全て出し切ったが、相手にヒロトのパワーを封じ込められてしまった。最後まで諦めずよく戦った。

スケジュール

- 6月25日 斉藤 司 Raging Battle決勝戦
- 6月30日 川瀬伊達男
- 7月23日 福本雄基、岩井 大、篠塚和也、

編集後記

市原隼人主演で『BOX』という高校ボクシング部を背景とする青春映画が上映されています。映画館に観に行きました。ボクシングシーンはアマチュアルールとは違っていますが、画面から熱く輝きながらもガラスのように脆い青春は十分に伝わってきます。